

軽快な水上滑走に歓声

あわら市 入所者らカヌー体験



学生らのサポートでカヌーを楽しむ参加者たち—あわら市の北潟湖で

福井市の福井フェニックススロークラブ（樋田信男会長）と県カヌー協会（上松信行会長）は十三日、あわら市北潟湖の北潟湖で、第五回カヌー体験教室を開いた。福井、あわら両市内の知的障害者授産施設などを利用する約六十人が参加。安心して水

に親しんでもらおうと、同協会のメンバーや福井大カヌー部員がマンツーマンでサポートした。

参加者は、カヌーの乗り方やパドルの使い方などについて説明を受けた後、ライフジャケットを着けてカヌーに乗り込んだ。体験者は「最初はカヌーを湖面に滑らせていたが、初体験の人たちは緊張しないうちに緊張がとれ、パドルの動かし方もぎこちなかった。しかし、徐々に慣れてカヌーを真つすぐに走らせることができるようになった。また参加者がこつを覚えてくれた。」と喜びを語った。（川口信夫）

カヌー体験を楽しんだ障害者ら—あわら市の北潟湖



カヌー気持ちいい

あわら市 障害者ら50人体験

福井フェニックススロークラブ（RC）は13日、あわら市の北潟湖でカヌー体験教室を開いた。参加した児童や身障者らは、気持ちよさそうに「水上散歩」を楽しんだ。

スポーツの楽しさを体験してもらおうと同RCが毎年開いている。この日は、あわら、福井両市の授産施設など5福祉施設の知的障害者ら約50人が参加した。

参加者は、県カヌー協会のメンバーからパドルの使い方を教わりながら試乗。カヌー初体験者が多い中、最初は恐る恐るこいでいたが、次第に慣れてくると湖面をスイスイと進んでいた。岸に上がると「怖くなかった」と笑顔を見せた。